

2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 株式会社JFLAホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3069 URL <https://j-fla.com>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 檜垣 周作
問合せ先責任者（役職名） 法務総務部長（氏名） 尾崎 富彦（TEL）03(6311)8892
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有（金融機関・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	32,069	△0.9	631	△0.6	458	△27.5	181	△69.0
2025年3月期中間期	32,348	△3.2	635	271.8	632	586.1	586	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 332百万円（△44.4％） 2025年3月期中間期 598百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	3.77	—
2025年3月期中間期	12.24	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	39,097	9,345	19.0
2025年3月期	39,466	9,082	18.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 7,447百万円 2025年3月期 7,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	64,000	△1.9	1,330	1.5	930	2.2	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社アスラポート

(注) 当社の連結子会社であった株式会社アスラポートは、2025年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当中間連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	48,277,135株	2025年3月期	47,964,636株
2026年3月期中間期	49,940株	2025年3月期	48,872株
2026年3月期中間期	48,227,912株	2025年3月期中間期	47,918,281株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2026年3月期の業績予想におきましては、引き続き、構造改革に伴う事業整理及び投資判断が必要との観点から、現時点では経常利益以下の各利益の業績予想の開示は行っておりません。

なお、今後の見通しにつきましては、業績予想の精査、並びに連結業績に与える経営数値の合理的な予想が可能となりましたら、速やかに開示いたします。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	60,000.00	60,000.00
2026年3月期	—	—			
2026年3月期(予想)			—	60,000.00	60,000.00

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の持ち直しによる緩やかな回復基調が見られる一方で、米国の通商政策、不安定な国際情勢や中国経済の低迷、エネルギー価格や原材料価格の高止まり、長引く円安など依然として先行きの不透明な状況が続いております。

食品業界につきましては、外食需要はインバウンド需要の増加により堅調に推移したものの、内食需要は多岐にわたる食品の値上げにより消費者の節約志向が強まり、厳しい事業環境となっております。

このような状況の中、当社グループは、事業再生計画の2期目にあたる当期も、製品価格の見直し、ポートフォリオの最適化、不採算事業の整理、経営管理体制の強化等の各施策を引き続き推進することに加えて、従業員の雇用待遇の改善やキャッシュフローを重視した経営に積極的かつ果敢に取り組み、不安定な事業環境においても事業継続が可能な経営基盤の発展を図りました。その一環として、2025年4月1日に当社を存続会社、連結子会社である株式会社アスラポートを消滅会社とする吸収合併を行い、グループ経営資源の合理化及び効率化を図りました。

これらの結果、当中間連結会計期間の売上高は32,069百万円(前中間連結会計期間比0.9%減)、営業利益は631百万円(前中間連結会計期間比0.6%減)、経常利益は458百万円(前中間連結会計期間比27.5%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は181百万円(前中間連結会計期間比69.0%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

①生産

九州乳業株式会社は、乳飲料は苦戦したものの、ヨーグルト、豆乳、牛乳が順調に推移したこと等により増収となりました。一方、利益面では人件費、電力料、物流費他が増加したこと等により減益となりました。茨城乳業株式会社は、主要取引先との密接な取り組みや商品開発強化等により、牛乳、ヨーグルト、プリン他の売上が伸長し増益となりました。株式会社弘乳舎は、前期に引き続き収益性の高い余乳処理受託加工収入が増え、また乳加工品も堅調に推移したこと等により増益となりました。盛田株式会社は、醤油のBtoBローリー商品は堅調に推移したものの、2024年7月に日光工場事業を売却した影響もあり、つゆたれ類、醤油の売上が減少し、また飲料、漬物他が苦戦したこと等により減収減益となりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は21,819百万円(前中間連結会計期間比0.5%減)、営業利益は1,074百万円(前中間連結会計期間比7.7%増)となりました。

②流通

株式会社アルカンは、円安が続く厳しい事業環境下においても付加価値の高い商品の訴求を行い、主力商品の「Kiriクリームチーズ」は大手洋菓子チェーン店他との取引が拡大し、また生産性向上が可能な高品質の調理済食品である冷凍パン、フンドヴォー及び2024年7月に発売した製菓用冷凍フルーツの「アンドロスシェフ」が順調に推移したこと等により増収増益となりました。海外子会社においては、仕入価格の高騰、人件費の増加及び物流拠点の移転に関わる費用が発生しましたが、事業ポートフォリオの見直し等により収益が改善しました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は6,342百万円(前中間連結会計期間比1.6%増)、営業損失は1百万円(前中間連結会計期間は営業損失4百万円)となりました。

③販売

株式会社アルテゴは、「BAGEL&BAGEL」のSKUの強化施策やリピーターに焦点を当てたプロモーション強化施策が奏功し、また2025年3月にオープンした博多店が好調に推移したこと等により増収増益となりました。株式会社菊家は、店舗及び卸部門で減収となったものの、これまで季節限定販売であった銘菓「ゆふいん創作菓子 蜜衛門」を通年販売にしたことや値上げ効果等により収益が改善しました。海外子会社においては、人件費やシステム関連費用が増加したこと等により減益となりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は3,726百万円(前中間連結会計期間比6.8%減)、営業損失は39百万円(前中間連結会計期間は営業利益27百万円)となりました。

④その他

ウェルエイジング事業等の当中間連結会計期間における売上高は180百万円(前中間連結会計期間比5.5%減)、営業利益は7百万円(前中間連結会計期間比26.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は39,097百万円となり、前連結会計年度末に比べ368百万円減少いたしました。
負債合計は29,751百万円となり、前連結会計年度末に比べ631百万円減少いたしました。
純資産合計は9,345百万円となり、前連結会計年度末と比べ262百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、構造改革に伴う事業整理等による精査が必要との観点から、業績予想は記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となりましたら、速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,574,358	4,058,180
受取手形及び売掛金	7,943,415	8,156,211
商品及び製品	4,303,274	4,558,424
仕掛品	1,766,762	1,886,046
原材料及び貯蔵品	1,053,088	1,158,816
その他	1,274,822	929,671
貸倒引当金	△67,325	△64,020
流動資産合計	20,848,396	20,683,329
固定資産		
有形固定資産		
土地	7,802,868	7,802,868
その他(純額)	6,110,135	6,040,693
有形固定資産合計	13,913,003	13,843,562
無形固定資産		
のれん	1,221,838	988,717
その他	87,321	72,847
無形固定資産合計	1,309,159	1,061,565
投資その他の資産		
その他	4,304,160	4,384,089
貸倒引当金	△908,657	△875,227
投資その他の資産合計	3,395,502	3,508,861
固定資産合計	18,617,666	18,413,989
資産合計	39,466,062	39,097,319

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,285,016	5,486,610
短期借入金	26,858	92,637
1年内返済予定の長期借入金	417,367	200
未払法人税等	274,962	262,352
賞与引当金	256,366	177,391
店舗閉鎖損失引当金	980	—
その他	3,170,874	2,961,293
流動負債合計	9,432,427	8,980,484
固定負債		
長期借入金	18,033,330	18,032,266
債務保証損失引当金	51,348	44,267
退職給付に係る負債	488,999	479,593
資産除去債務	469,757	462,363
その他	1,907,532	1,752,706
固定負債合計	20,950,967	20,771,197
負債合計	30,383,395	29,751,681
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801,306	3,801,306
資本剰余金	10,861,441	10,852,307
利益剰余金	△6,720,397	△6,538,431
自己株式	△17,542	△17,713
株主資本合計	7,924,807	8,097,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	146,121	292,524
為替換算調整勘定	△818,528	△807,375
退職給付に係る調整累計額	△120,519	△134,725
その他の包括利益累計額合計	△792,926	△649,576
非支配株主持分	1,950,786	1,897,745
純資産合計	9,082,667	9,345,637
負債純資産合計	39,466,062	39,097,319

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	32,348,418	32,069,168
売上原価	23,800,338	23,557,871
売上総利益	8,548,080	8,511,297
販売費及び一般管理費	7,912,339	7,879,325
営業利益	635,741	631,972
営業外収益		
受取利息	9,778	10,013
受取配当金	5,982	6,950
貸倒引当金戻入額	1,012	48,306
為替差益	204,815	—
その他	63,248	61,746
営業外収益合計	284,837	127,016
営業外費用		
支払利息	205,907	225,606
持分法による投資損失	7,790	6,082
その他	74,396	68,676
営業外費用合計	288,094	300,365
経常利益	632,483	458,623
特別利益		
固定資産売却益	1,800	908
関係会社株式売却益	175,950	—
受取保険金	—	8,685
債務保証損失引当金戻入額	—	7,081
その他	3,543	2,889
特別利益合計	181,293	19,564
特別損失		
固定資産売却損	—	2,287
固定資産除却損	825	386
固定資産圧縮損	—	8,685
店舗閉鎖損失	—	10,380
事業構造改善費用	30,793	—
その他	5,900	—
特別損失合計	37,519	21,739
税金等調整前中間純利益	776,257	456,447
法人税、住民税及び事業税	213,910	245,076
法人税等調整額	△1,814	20,923
法人税等合計	212,096	266,000
中間純利益	564,161	190,447
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△22,553	8,480
親会社株主に帰属する中間純利益	586,714	181,966

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	564,161	190,447
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,063	146,775
為替換算調整勘定	△15,906	10,399
退職給付に係る調整額	△22,840	△14,939
その他の包括利益合計	34,316	142,235
中間包括利益	598,477	332,683
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	586,224	325,316
非支配株主に係る中間包括利益	12,253	7,366

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	776,257	456,447
減価償却費及びその他の償却費	592,544	524,865
のれん償却額	260,776	233,855
貸倒引当金の増減額(△は減少)	145,364	△36,719
賞与引当金の増減額(△は減少)	△92,856	△78,975
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△980
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△137,955	—
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△3,243	△7,081
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△61,413	△40,047
受取利息及び受取配当金	△15,761	△16,963
支払利息	205,907	225,606
受取保険金	—	△8,685
助成金収入	△300	—
店舗閉鎖損失	—	10,380
事業構造改善費用	30,793	—
固定資産売却損益(△は益)	△1,800	1,379
固定資産除却損	825	386
持分法による投資損益(△は益)	7,790	6,082
関係会社株式売却損益(△は益)	△175,950	—
売上債権の増減額(△は増加)	42,617	△206,405
棚卸資産の増減額(△は増加)	△252,573	△473,003
仕入債務の増減額(△は減少)	△805,713	199,465
未払金の増減額(△は減少)	△182,220	△21,843
未払消費税等の増減額(△は減少)	△146,960	△66,602
未払費用の増減額(△は減少)	△385,969	△41,944
前受金の増減額(△は減少)	26,086	3,384
その他	△486,333	344,442
小計	△660,086	1,007,044
利息及び配当金の受取額	24,423	16,268
利息の支払額	△214,057	△225,022
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△207,069	△260,951
保険金の受取額	—	8,685
助成金収入の受取額	300	—
事業構造改善費用の支払額	△2,019	—
その他	△5,564	3,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,064,073	549,347

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	10,028	—
有形固定資産の取得による支出	△356,405	△526,535
有形固定資産の売却による収入	31,988	908
無形固定資産の取得による支出	△2,174	△3,268
投資有価証券の取得による支出	△998	△1,044
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	10,000	794
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△99,711	—
貸付けによる支出	△6,000	—
貸付金の回収による収入	52,240	36,920
敷金及び保証金の差入による支出	△23,713	△2,972
敷金及び保証金の回収による収入	547	33,374
長期前払費用の取得による支出	△15,206	△3,381
その他	764	594
投資活動によるキャッシュ・フロー	△398,638	△464,609
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,051	65,791
長期借入金の返済による支出	△68,169	△418,224
割賦債務の返済による支出	△23,697	△21,701
リース債務の返済による支出	△143,788	△110,673
自己株式の処分による収入	6	1
自己株式の取得による支出	△378	△174
配当金の支払額	△20,025	△120,020
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△257,104	△605,001
現金及び現金同等物に係る換算差額	88,282	4,086
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,631,533	△516,177
現金及び現金同等物の期首残高	5,695,601	4,554,335
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,064,067	4,038,157

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	生産	流通	販売	計		
売上高						
物品の販売・サービス	21,906,637	6,193,484	3,971,631	32,071,752	21,329	32,093,082
手数料収入	—	2,009	25,418	27,427	5	27,433
その他	—	—	—	—	126,628	126,628
顧客との契約から生じる収益	21,906,637	6,195,493	3,997,050	32,099,180	147,963	32,247,143
その他の収益	12,997	45,660	—	58,658	42,616	101,274
外部顧客に対する売上高	21,919,635	6,241,153	3,997,050	32,157,838	190,579	32,348,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高	376,315	160,163	79,176	615,655	50	615,705
計	22,295,950	6,401,316	4,076,226	32,773,493	190,629	32,964,123
セグメント利益又は損失(△)	998,283	△4,598	27,009	1,020,694	10,724	1,031,419

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルエイジング事業等の売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,020,694
「その他」の区分の利益	10,724
全社費用(注)	△ 395,677
中間連結損益計算書の営業利益	635,741

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	生産	流通	販売	計		
売上高						
物品の販売・サービス	21,817,065	6,294,733	3,702,079	31,813,878	14,478	31,828,357
手数料収入	—	2,392	24,776	27,169	19	27,188
その他	—	—	—	—	125,531	125,531
顧客との契約から生じる収益	21,817,065	6,297,125	3,726,856	31,841,048	140,030	31,981,078
その他の収益	2,397	45,660	—	48,057	40,032	88,090
外部顧客に対する売上高	21,819,463	6,342,786	3,726,856	31,889,106	180,062	32,069,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	396,395	195,969	43,069	635,433	94,660	730,094
計	22,215,858	6,538,755	3,769,925	32,524,539	274,723	32,799,263
セグメント利益又は損失(△)	1,074,728	△1,585	△39,224	1,033,918	7,868	1,041,787

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ウェルエイジング事業等の売上であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,033,918
「その他」の区分の利益	7,868
全社費用(注)	△ 409,815
中間連結損益計算書の営業利益	631,972

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。